

東京工芸大学が 「Challenge Art in Japan 2021」を開催

東京工芸大学(学長:吉野弘章、所在地:東京都中野区、以下、本学)芸術学部は、駐日韓国大使館 韓国文化院との共催により、「Challenge Art in Japan 2021(以下、本展示会)」を11月11日(木)から12月7日(火)まで開催します。本展示会は、日本の芸術系大学に在学中の韓国人留学生と日本人学生の交流をより一層深めるための合同展です。

今年で第9回目となる本展示会は、本学が交流校として開催します。本学の特色である「メディア芸術」を学ぶ韓国人留学生と日本人学生の計17名が、個性豊かな作品を出展します。(入場料無料、予約不要)

本展示会は、韓国人留学生と日本人学生の交流を深めるほか、美術館やメディア芸術専門家、文化庁(メディア芸術祭)にも紹介することにより、学生が卒業後グローバルに活躍するための足掛かりとなります。本展示会では、本学に在学中の韓国人留学生と日本人学生の計17名が、多種多様な「メディア芸術」作品を、駐日韓国文化院ギャラリーMIで展示します。

本学は、2023年に創立100周年を迎えます。本学芸術学部は、この創立100周年を機に、日本国内のみならず世界的なメディア芸術の教育・研究機関を目指し、取り組んでいきます。

■Challenge Art in Japan 2021

駐日韓国大使館 韓国文化院では「Challenge Art in Japan」を、日韓の芸術教育の成果を発表するとともに、韓国人留学生と日本人学生の交流展として2012年から開催している。

【日 程】11月11日(木)～12月7日(火)

【会 場】駐日韓国文化院ギャラリーMI(展示室)、サランバン(伝統空間)

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-4-10 駐日韓国大使館

【入場料】無料(予約不要)

【U R L】https://www.koreanculture.jp/info_news_view.php?number=7022

